

令和6年度 夏の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名(指宿市)

事業名	第44回指宿市・人吉市子ども会交歓会	実施時期	(令和6年7月23日～7月24日)
趣旨又は目的	姉妹都市指宿市・人吉市の両子ども会が交流することにより、お互いの友情と親睦を深め、協調や友愛の心を育てる。		
参加者	<p>指宿市 小学生5年生(参加者) 23名 ジュニア・リーダー 8名 市子連役員・指導者 46名</p> <p>人吉市 小学生5年生(参加者) 25名 ジュニア・リーダー 11名 市子連役員・指導者 9名</p> <p style="text-align: right;">計 122名</p>		
活動概要	<p>※本年度は指宿市が人吉市を受入れ</p> <p>7月23日(火)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○お迎え式 ○海遊び体験(カヌー, バナナボート等) ○砂むし温泉体験 ○夕食(BBQ) ○班ごとにテント宿泊 <p>7月24日(水)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○朝食 ○山川地熱発電所見学 ○JR西大山駅散策 ○昼食(市営唐船峡そうめん流し) ○お別れ式 		
活動写真 [説明]	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>←海遊びの様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>夕食の様子→</p> </div> </div>		

令和6年度 夏の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名(南さつま市)

<p>事業名</p>	<p>家族でチャレンジin南さつま</p>	<p>実施時期</p>	<p>令和6年7月20日(土)</p>
<p>趣旨又は目的</p>	<p>家族が物作りを通して、地域の人と触れ合い、つながりの大切さに気づくことができる機会とすることができる。</p>		
<p>参加者</p>	<p>5家族 17人 スタッフ9人 計26人</p>		
<p>活動概要</p>	<p>場所 南薩少年自然の家 受付 9:00～ 9:30 入所式 9:30～ 9:45 ペットボトルロケット作成 9:45～10:30 発射体験(グラウンド) 10:30～11:30 アンケート記入 11:30～11:45 閉校式・退所式 11:45～11:50</p>		
<p>活動写真 [説明]</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>【 家族でロケット製作 】</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>【 出来上がりました 】</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>【 発射台に取り付け 】</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>【 やったー！空高く飛んだ 】</p> </div> </div>		

令和6年度 夏の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名(南九州市)

事業名	第1回南九州市校外生活指導連絡会	実施時期	令和6年6月6日 (令和6年7月1日～8月31日)
趣旨又は目的	児童生徒の健全な育成のための学校内外における生徒指導の充実を図ることを目的とする。		
参加者	60人(校長・生徒指導担当者・PTA会長など学校関係者56人, 市教委職員4人)		
活動概要	令和5年度事業・決算報告, 令和6年度重点目標・事業計画(案)・収支予算(案), 会則, 夏休みへ向けて生活指導の共通理解事項(案)などについて協議が行われた。本連絡会での協議の柱として, インターネット(SNS)の取り扱いなど, いじめ問題未然防止の取組が決まった。		
活動写真 [説明]	 <p data-bbox="560 1771 1155 1827">生活指導などについて協議する学校関係者</p>		

令和6年度 夏の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名(枕崎市)

事業名	かつお釣り体験アドベンチャー	実施時期	令和6年7月22日 (令和6年7月1日～8月31日)
趣旨又は目的	枕崎の伝統的な漁法である「かつおの一本釣り」の体験を通して、心豊かでたくましい中学生を育成するとともに、郷土枕崎の基幹産業である「かつお漁業」について理解を深めさせ、かつおを使った郷土料理で、枕崎の産業、文化に培われた食材や産物があることを知り、家庭や地域の良さを理解し、愛着や感謝の気持ちを持たせる。		
参加者	市内4中学校生徒10名(1年生2名・2年生2名・3年生6名)		
活動概要	<p>鹿児島水産高等学校の協力により、同校の実習船「拓青」に乗船し事業を実施した。台風接近による悪天候が予想されたため、急遽日程を前倒しし枕崎港近海での底もの釣りを実施した。</p> <p>生徒10名全員参加での実習となり、今回は女子生徒5名の参加もあり、3年生が6名、2年生が2名、1年生が2名での事業実施となった。</p> <p>生徒たちは実習の予行練習もないままの実習だったが乗組員の丁寧な説明、指導により釣りをすることができた。その結果、午前午後合わせてアジ、サバ、イサキなど計59匹の釣果があった。</p> <p>また、かつおの魅力研修では、かつおの捌き方や料理を堪能できたことも生徒にはよい経験ではなかったかと思う。</p> <p>生徒たちは、魚を釣るまでの細かい準備作業や役割分担の大切さを学ぶとともに、船上での体験を通して、ともに助け合う心や困難を乗り越えていく気力を養うことができた。</p>		
活動写真 [説明]	 <p>餌を付けて海へ投入</p>  <p>かつおの捌き方に悪戦苦闘中</p>		